

広報

No. 185

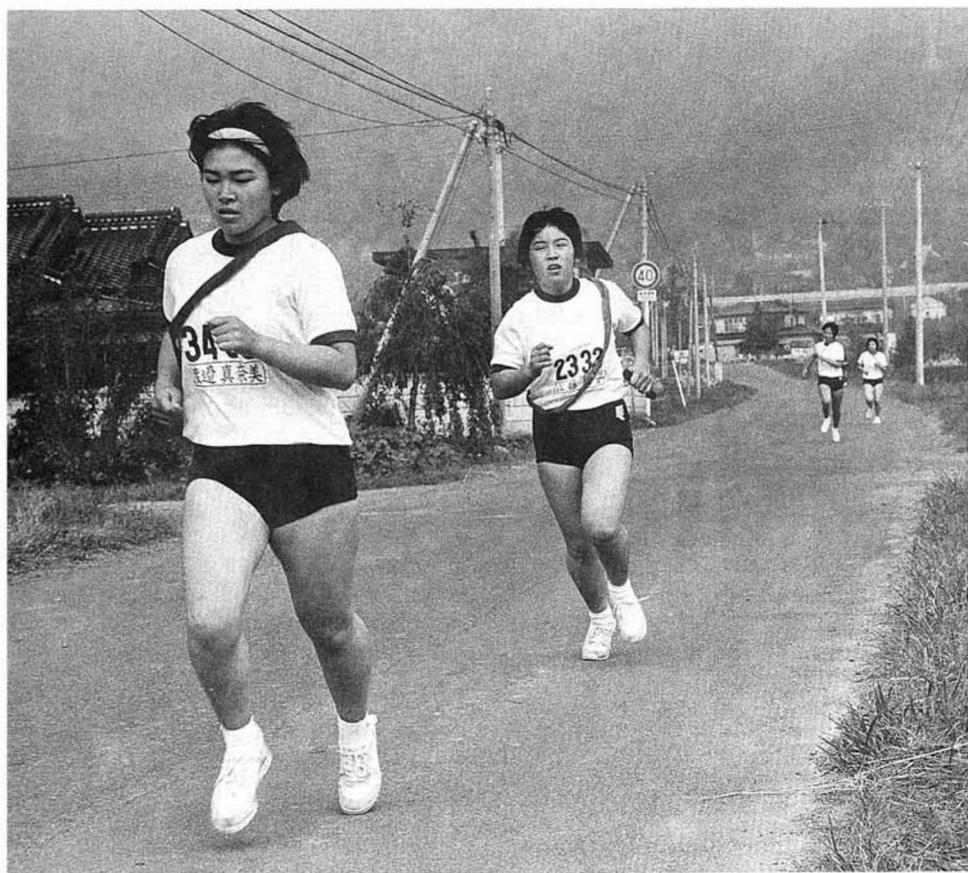
くま

昭和63年11月15日

発行・編集 国見町企画課

*** おもな内容 ***

町表彰式	2
渡辺和人君に県教育長賞	3
昭和64年成人者	4
冷害による税の減免について	5
生活型公害を考える	6
ふるさとの文化財	7
おしらせ	8~9
公民館だより	10~11
わだい	12



'88
11月

タスキでつないだ27km

秋晴れに恵まれた10月26日、県北中学校（菅原 弘校長）で、校内駅伝大会を行いました。クラス毎にチームを編成し、合計15チームが参加して日頃の練習の成果を発揮、熱戦を展開しました。

63年度
表彰表

晴れの受賞を祝う



▲功労者の皆さん

この表彰式は、町表彰規定により、本町の政治、経済、産業、文化、社会など町政各般にわたって、町政の振興、発展に尽くされた方々を顕彰するもので、今年で二十二回目を迎えました。

須田寛一さんら 十二人を表彰

私たちの町の発展に貢献された皆さんを表彰する「昭和六十三年度国見町表彰式」が、十一月二日午前十時から町公民館で開かれました。式では、長い間、地方自治の発展に尽力された六人の功労表彰者をはじめ、十二人に八島助役から表彰状と記念品が贈られました。め努力いたします」と謝辞を述べて表彰式を終えました。

受賞者の皆さんの功績を称えるとともに、今後も引き続き国見町発展のためにご尽力くださるようお願いいたします。

表彰を受けた皆さん

(敬称略)

◆功労表彰

- ▽須田 寛一(消防団員)
- ▽斎藤 孝一(消防団員)
- ▽吉田 輝雄(町職員)
- ▽吉田 俊江(町職員)
- ▽谷津美代子(町職員)
- ▽木口 絹子(町職員)

◆善行表彰

- ▽佐藤 義正(部落会長)
 - ▽村上 公正(部落会長)
 - ▽安藤 正重(納税貯蓄組合長)
 - ▽菅野 正也(納税貯蓄組合長)
 - ▽中村 一郎(人命救助)
 - ▽志村 清一(人命救助)
- 町発展のため、それぞれの分野で尽力されてきた表彰者一人ひとりに八島助役から表彰状と記念品が贈られました。
- 受賞者を代表して斎藤孝一さんが、「栄えある賞をいただき、たいへん光栄です。今日の感激を肝に銘じ、今後も町発展のため」

渡辺和人君（小坂小五年）に

福島県教育長賞

県統計グラフコンクール

十月二十日、会津若松市の県営会津体育館で「第三十八回福島県統計大会」が開催され、その席上、小坂小学校五年の渡辺和人君が福島県教育委員会教育長賞を受賞しました。

この統計グラフコンクールは、統計に関心を持ってもらおうと福島県が毎年実施しているもので、日ごろの私たちの身の回りの動きを統計的にとらえ、具体的にグラフで表現し、人々に訴

えるのが統計グラフです。また、統計功労者として、谷津富夫さん（町職員、統計従事歴九年）が、長年の努力が認められ、県統計協会会長表彰を受けました。

統計グラフコンクールの入賞者と表題名は次のとおりです。（敬称略）

- ◆教育長賞
渡辺 和人（小坂小五年）
「くらしの中の紙しらべ」



▲教育長賞を受けた渡辺君と作品

- ◆佳作
佐藤美英子（小坂小二年）
「れいぞうこのあけしめしらべ」
- 鴨田 清敏（小坂小四年）
「果樹づくりの労働時間」

- ◆努力賞
田村知佳子（小坂小六年）
後藤亜也子（小坂小六年）
「電話は友達」

伊達地方統計功労者に

斎藤ヒサ子さん

六十三年度伊達地方統計功労者として、斎藤ヒサ子さん（山崎字館東）が、伊達地方統計協会より表彰され、十月二十一日、役場町長室で八島助役から表彰状と記念品が伝達されました。斎藤さんは、長年、町統計調

査員として各種統計業務にたずさわり、その功績が認められたものです。

武田 衛さんら受賞

県交通安全県民大会

十月二十五日、第二十七回県交通安全県民大会が相馬市民会館で開催され、席上、当町から七名が交通安全功労者として表彰されました。大会では、交通事故のない明るく住みよい社会づくりの実現に向けて努力することを宣言しました。

- ◆交通安全功労者
武田 衛 佐藤 三男
- ◆優良運転者
大津 昭一 松浦 久男
小池 幸助 野村 和夫
阿部 重正



▲八島助役から表彰状を伝達される斎藤さん



▲県交通安全県民大会（相馬市民会館）

伸びよう 伸ばそう 青少年

あなたのまちで わたしのまちで

11月は全国青少年健全育成強調月間



昭和六十四年成人者

来年一月十五日成人式



来年一月十五日の「成人の日」には町の成人式が行われます。対象者は、昭和四十三年四月二日から四十四年四月一日までに生まれた方で、町内在住者です。ただし、希望すれば町出身の町外在住者でも出席できます。早めに教育委員会に申し込みください。

十一月一日現在の予定者は次のとおりです。氏名に誤りや記載もれがあればお知らせください。

（一）八五二二二二 内線二二二 有線四一七二

（敬称略）

藤田地区 55名

武田裕子	後藤清二
後藤孝信	遠藤祐子
成田祥子	岩城重幸
徳江紀子	村木長一
秦広美	松浦由美子
石川裕谷	大槻透

大村弘	寺島英男
半澤勉	菊地繁之
鴨田篤	大内享
佐藤武	眞塩裕之
古内幸子	高橋久美子
杉崎佐枝子	鈴木昭弘
渡部直也	齋藤義彦
中條久美子	谷地芳典
内村勉	佐藤永大
蓬田剛	吾妻久峰子
澤口治三	吉川美保子
佐藤邦彦	佐藤光子
穴戸ゆかり	八島由美子
菊地勝幸	八島佳奈子
安部仁	幕田恵一
大橋はるみ	大橋ひとみ
齋藤剛	上淳一
高橋由美子	島貫道子
佐藤恵美子	秦和彦
小沼満	谷口哲也
佐久間洋子	木口英則

小坂地区 18名

清水奈穂子	鴨田信子
長尾泰幸	齋藤功
菅野真須美	大野みゆき
後藤千歳	野村雄二
佐藤裕子	阿部裕
渡邊一仁	阿部美智子
渡邊美佐子	鴨田美代子
菅野俊行	笹木ひろみ
古内恵子	菅野弘美

森江野地区 32名

鈴木哲也	佐久間美佐子
三の輪昌子	遠藤勝則
佐藤昭保	寺島明美
渡邊利江	伊藤一紀
大津香織	吉田美和子

大木戸地区 13名

石川栄子	佐藤佳子
星野博幸	遠藤光子
佐藤敏行	佐藤律子
後藤順子	酒井保寛
高橋裕毅	八島義則
赤間秀雄	半澤隆志
菊池久好	

大枝地区 4名

小林昌代	吉田信吾
小林秀子	木村桂子

佐藤一枝	佐藤ちづ子
寺島透	大戸勝美
齋藤信雄	佐藤玲子
佐野雅治	村上みちよ
制野尚美	小池智
大波由佳	村上薫
菊地敏江	菊地一真
菊地幸子	岩崎直樹
岩崎香織	近江幸江
佐久間由美	菊地由紀子
菊地宏子	佐藤久美子

「高齢者健康づくり教室」が開催される

町保健課と町健康づくり推進協議会が主催した「第二回高齢者健康づくり教室」は、十月二十四日から二十六日までの三日間、町民体育館で開催されました。

福島市社会教育指導員の佐藤キイさんが講師を務め、延べ八十人が受講したこの教室では、座りながらできる簡単な体操や、柔軟体操、数え歌に合わせてのリズム体操などを行いました。また、フォークダンスなどもあり、受講者の皆さんは楽しみながら快い汗を流していました。



▲好評だった健康教室

冷害による被災者に対する「税」の減免について（お知らせ）

冷害により、特に甚だしい被害をうけ、納税が極めて困難な方

趣 旨 今年の異常気象により、特に甚だしい被害をうけ、納税が極めて困難と認められる方の町県民税と国民健康保険税を、その災害の程度に応じ、税額の一部又は、全部を減免するものです。

減免となる税目

- 町県民税（第3期・第4期）※均等割は除く。
- 国民健康保険税（第3期・第4期）

減免の基準

被害額の算出基準	前年中の合計所得金額	減免割合
・農作物の被害額が平年における農作物の収入の合計の3割以上であるもの ※被害額とは、被害による損失額から共済等の受取金を差し引いた残りの額をいいます	180万円以下であるとき	全 部
	240万円以下であるとき	10分の8
	330万円以下であるとき	10分の6
	450万円以下であるとき	10分の4
	450万円を超えるとき	10分の2

農業所得と他の所得がある場合 上記の減免基準で計算した減免割合に、さらに農業所得と農業所得以外の所得（給与等）の割合を乗じて町県民税の所得割、国民健康保険税について減免します。

適 用 除 外

- ①冷害による被害が3割未満の場合
- ②前年の合計所得が600万円以上
- ③農業所得以外の所得（給与等）が240万円を超える場合

減免の手続 冷害により税の減免を受けようとする方は、次により申請手続きをして下さい。

- 1.申請期間・時間 11月25日（金）まで（午前9時～午後4時まで）
（土、日曜、祝日は除く）
- 2.申請受付場所 国見町役場税務課
- 3.持参していただくもの
 - ・いんかん
 - ・被害の事実を証明する書類（農協、養蚕組合、青果物集荷業者等が発行する証明書）※水稲については不要

〈不明の点は、税務課におたずねください〉



生活型公害チェック・リスト

あなたは発生源になっていませんか	YES	NO
① 深夜、早朝に長時間アイドリングをする。		
② 寝る前に風呂などの水を流している。		
③ 団地の室内や階段の上り下りで大きい足音をたてる。		
④ 夜おそくまでにぎやかにゲームなどをすることが多い。		
⑤ テレビ・ステレオを大きな音で聴いている。		
⑥ 勢いよくドアや窓を開閉する。		
⑦ 犬などのペットが庭で長時間はえたり、鳴いたりする。		
⑧ 洗濯機のモーターの音が大きい。		
⑨ 家でピアノを弾くが防音対策は考えたことがない。		
⑩ クーラーを人が寝静まった深夜までつけている。		
⑪ ペットのフンを持ち帰らない。		
⑫ 指定日以外にゴミを出す。		

生活型公害を考える

あなたは被害者？ それとも加害者？

トラブル防止の決め手は

日ごろの付き合い

工場からの騒音や振動、水質汚濁や地盤沈下——これらの公害は、法律による規制や企業努力もあつてかなり改善され、苦情件数も年々減つてきています。その反面、都市化の進展や国民の環境意識の高まりなどから、近隣騒音などの「生活型公害」による苦情が増えています。ここでは、こうした生活型公害の特徴をみながら、その現状と対策を考えてみましょう。

生活型公害の

特徴を知ろう

うるさい、臭い、汚い——これらは、公害苦情を言い表すときに使われる、代表的な言葉です。生活型公害の場合も、この例にもれません。動物の鳴き声やファン、テレビやクーラーの音

など、さまざまなことが、迷惑として挙げられています。さて、こうした生活型公害の特徴として、従来の産業型公害とは異なる点がいくつかあります。

● だれもが被害者になりうるし加害者にもなりうる
テレビやステレオの音を大きく

● 近所付き合いの程度が「被害感」を左右する
知っている人なら相談しやすいが、知らない人となると……隣近所の付き合いがあまりないと、こうした意識からトラブルが発生しがちです。隣近所とのコミュニケーションのあり方で被害感が変わるようです。

● 影響範囲が狭い
騒音などの発生する場所のまわりの数軒はうるさいが、その他の家では影響がないといった

くして聴いたり、ドアを勢いよく閉める——これらは、自分でも無意識のうちに行っていることが多いです。自分が聞かされる立場のときは「うるさい」と思うのに、発生源になっているときには気が付きにくいものです。

● 近所付き合いの程度が「被害感」を左右する
知っている人なら相談しやすいが、知らない人となると……隣近所の付き合いがあまりないと、こうした意識からトラブルが発生しがちです。隣近所とのコミュニケーションのあり方で被害感が変わるようです。

まず家庭内の発生源を子エック

これらの特徴を見てもわかるように、生活型公害には感覚的、心理的な被害が多いようです。その点、注意すれば防げるものが多いことも事実です。まず、日常生活を振り返つて、その公害の発生源を捜してみよう（子エックリスト参照）。いままで、気に止めなかったような行為があるかもしれません。例えば自分にとっては「快感」となる音楽も、他人にとっては「騒音公害」としかならない場合もあるのです。

ように、公害による被害の範囲が狭いケースが多くなっています。

ふるさとの文化財

56

泉田館跡

(畦田屋敷か)

菊池利雄



以下この館を泉田館(仮称)と呼び、若干の考察を試みてみよう。

この地域は半田山系に源を発し、東流する滝川・普蔵川などによって形成された緩傾を示す複合扇状地上に立地し、ほぼ一〇〇以上の等高線に沿って、北側から歌丸屋敷(歌丸氏の屋敷)、前田館(前田氏の館)、そしてこの泉田館(伊達崎氏の館)と並び、伊達氏家臣団の構成からみれば、譜代としても比較的 newcomers の館主によって、占められていたようにみられる。

安積屋敷(前田館)の南西約四〇〇は、現在、大部分は東北縦貫自動車道の敷地となっており、また、旧泉田村宇字寺前の安積貞雄、紺野忠蔵両氏の旧宅地(一帯)の地は、小坂村地籍図(四見)によって検討すれば、一辺が約九〇〇の方形館地割が検出され、

この内泉田のくら田屋敷は、現在の畦田付近にあった屋敷(館)と考えられ、滝川の分派川

である玉川をはさんで、北側は寺前、南側は畦田(前)となっており、畦田内からは館状地割は検出されず、前述のように寺前の地の方形館が畦田屋敷にみることができ、寺前は泉秀寺の前を意味する地名であり、

この寺は曹洞宗置賜郡米沢東源寺の末寺で、慶長三年(一六〇四)米沢藩士の大滝信安(原北内氏)によって創立された(「原北内氏」)ことから、寺前の地は中世においては畦田に含まれていたとも考えられ、畦田は棚田状の地形で、田圃の広さに比較して大きな畦の多いことに由来した地名であろう。

天文二十二年(一五五三)の「伊達晴宗采地下賜録」によれば、前田館の館主であった安積(伊藤)金四郎の庶流と思われ安積孫右衛門は、天文の乱において伊達晴宗に味方し、乱後加恩地の下賜にあずかっており、「伊達西根、飯(半)田の内、安積二郎左衛門分七百刈同屋敷、同郡前田の内、千五百刈、北半田の内、水口六百刈、畠中在家、山岸在家、同郡内谷の内、遠藤持監分屋敷手作、井内谷彦四郎分、百五十畠、泉田の内、田手隼人分、く(畦)田屋敷一間各下」とある。

国保コーナー

11月9日・15日
全国糖尿病週間

年に一度は必ず検査を!!

糖尿病を患っている人が年々増えています。主な原因としては、運動不足やカロリーの取り過ぎによる肥満が挙げられています。また、こまめにストレス、感染症などが引き金となつて発病する場合もあります。糖尿病の症状がよく知られているのは、「のどが渇く」「体がだるい」といったものです。しかし、これらの症状は単なる疲れと錯覚しがちで、発見が遅れて悪化してしまつたという例も少なくありません。

症状がでにくく、知らないうちに病気が進行する糖尿病で恐ろしいのは、自覚症状がでないため、知らないうちに合併症を引き起こすことだといわれています。「トイレに行く回数が多い」などの症状がでたときは、すでに病気が進行している状態です。すぐ治療をしなければいけません。放置しておくと、脳、目、心臓、じん臓などの細かい血管が

硬くなり、脳卒中や心臓病などの合併症を引き起こし、最悪の場合は死に至ります。しかし糖尿病は、治療を受けて医師のアドバイスを守れば、通常とほとんど変わらない生活ができる病気です。

「自分は糖尿病ではない」と思っているも、年に一度は必ず検査を受けましょう。

国保一日人間ドックの二次受検者を受付

- 一、検査期日 昭和63年12月初旬
- 二、検診場所 公立藤田総合病院
- 三、検診内容 理学、呼吸器、循環器系、腎機能、胃腸系、肝機能、糖尿病、血液系、眼底検査
- 四、対象者 国保被保険者で、40歳から59歳までの男女35名
- 五、経費 検査費負担七千五百円
- 六、申し込み方法 11月25日まで経費を添えて、役場保健課国保保まで申し込んでください。



特設人権相談所

を開設

福島県地方方法務局、福島人権擁護委員協議会及び町では、次のとおり無料特設人権相談所を開設いたします。

一、日時

12月6日(火)

午前10時～午後3時

二、場所

国見町公民館(福祉センター)

○学校、職場の問題

○家族の問題

○近隣関係の問題

相談内容はすべて秘密ですので、困りごと、悩みごとがありましたら、お気軽にご相談ください。

遺族援護・恩給業務 巡回相談会を開催

一、相談内容

(一)戦傷者援護関係

○手帳の請求について

○療養給付、補装具交付、各種減免について

(二)戦没者遺族援護関係

○遺族年金、遺族給与金について

○特別給付金、弔慰金について

(三)旧軍人恩給関係

○普通恩給、一時恩給、一時金、扶助料について

○傷病恩給について

○軍歴を有する者で外国政府、特殊法人、特殊機関などの勤務について

二、日時及び会場

12月1日(木)

午前9時30分～午後3時

保原町中央公民館

三、その他

出席者は相談内容に関する資料を持参してください。

その火

すぐ始末



秋の火災予防運動

十一月二十六日から十二月二日まで、全国一斉に秋の火災予防運動が実施されます。

この運動は、日一日と寒さが増し、こたつやストーブなどの火気施設が多く使用される季節を迎え、悲惨な火災の発生と死

傷者や大切な財産の損失を防ぐために行われます。

万一、火災が発生した場合、初期消火は私たちが住民の義務です。どんな火災でもはじめは小さな火、消火器の正しい使い方をマスターして、火災から尊い生命や財産を守りましょう。

いざという時のために、職場や家庭で反復訓練することが大切です。防災訓練などが実施される時は、積極的に参加して消火器を実際に使ってみましょう。

消火器を備えるポイント

消火器は、取り出しやすく、いつも目につく所に置きましょう。そのポイントは、

▽火を使っている台所や風呂場から、あまり離れていない所に設置しましょう。

▽直射日光が当たらず湿気の少ない所に設置しましょう。

▽棚の上や押入れの中、物の間には置かないようにしましょう。

11月9日は「119番の日」

「災害は忘れたころにやってくる」と言われます。皆さんの生活をより一層安全なものにするため、消防を正しく理解し、認識を深めていただくため11月9日を「119番の日」と定められました。

「119番」は火災の発生や救急要請する場合に限り、消防署と皆さんを結ぶホットラインです。一分一秒を争う通報内容が正確であればあるほど、被害を少なくするもつとも有効な手段です。

消防署に通報されますと、通信担当者が通報内容を誘導します。皆さんは指示に従って、次の要領で通報してください。

○火事か・救急か

○場所(できれば目標を)

○火事・救急の概要

○あなたの氏名

○今、使っている電話番号

皆さん、あわてず正確に通報してください。

伊達地方消防組合
中央消防署西分署

租税教室を開催

○とき 十一月三十日(水) 午後一時三十分

○ところ 国見町公民館(町民福祉センター)

○内容 「税」全般について。消費税のあらまし等

○講師 仙台国税局広報専門

○主催 官ほか 国見町納税貯蓄組合連合会

※お気軽にお出でください。

十一月は、税を知る週間です。この機会に、あなたも「税」について考えてみましょう。

年末調整説明会

○日時 十一月二十一日(月) 午後一時三十分

○会場 桑折町福祉センター

年末調整は、サラリーマンにとって確定申告に代わる大切な手続きです。

源泉徴収をされている事業所等の方は、ぜひご出席下さい。



今月の納税

十一月は、固定資産税(第四期)の納税の月です。

納期内(十一月三十日まで)に納入しましょう。

戸籍の窓口

(10月受付分)

出生おめでとうございます

子の名	保護者	部 落
美由紀(みゆき)	仲野 正一	田 上
景子(けいこ)	酒井 邦雄	山 城
なつみ	浅野 正宏	東 山
美保(みほ)	大沼 隆雄	谷 源
未奈(みな)	古川 孝雄	東 谷

結婚おめでとうございます

氏 名	部 落
小西 勇	南 栗 田
邊みどり	市 七
佐藤 弘里	島 市
内山 仁志	前 島
富永 亮子	福 島

おくやみ申し上げます

氏 名	年 齢	部 落
一 條 善太郎	86	田 川
高 原 忠七	50	取 田
安 藤 アフミ	78	北 町
菊 地 藤三	55	東 母
佐 藤 フヨ	64	明 寺
遠 藤 ツツク	61	一 館
松 地 浦	65	坂 部
後 藤 善吉	67	
井 砂 豊イ	78	
	80	

返済方法
○返済期間
五年以内
○利率
年五・七%

毎月元利均等返済。または、融資額の二分の一以内でボーナス月(二月・七月)増額返済を併用できます。

オープン 森江野町民センター

阿武隈川上流流域下水道周辺対策事業として、徳江字下谷地田内に建設が進められていた「森江野町民会館」(森江野町民センター)が完成し、十月二十日、オープンしました。

一、使用申込み
○森江野町民会館に申請してください

二、使用時間
○午前九時から午後九時三十分まで

三、休館日
○毎週水曜日(水曜日が国民の祝日にあたる時はその翌日)

ご利用ください 国の進学ローン

今年度より利用限度額がアップし、返済期間も延長となり一層利用しやすくなりました。

○利用いただける方
高校・大学等に進学される方のご父母

返済月額

金額/月	三年	五年
五〇万円	一五五三九円	一九七五七円
八〇万円	二四八六三円	一五五七九円
一〇〇万円	三〇七九四円	一九四七四円

たとえば、一〇〇万円を五年返済で利用した場合、利息の総支払額は、一四八、九六六円(一年当り、二七、七九三円)です。

野体育館」が完成し、十月二十日、オープンしました。

これらの施設全体の名称を「国見町森江野町民センター」と称して、地域の交流をはかり、教養や趣味を深めるとともに、スポーツに親しみ健康な体をつくるよう、大いにご利用ください。

使用方法

一、使用申込み

○森江野町民会館に申請してください

二、使用時間

○午前九時から午後九時三十分まで

三、休館日

○毎週水曜日(水曜日が国民の祝日にあたる時はその翌日)

人口と世帯

11月1日現在(前月比)10月中のうごき

人 男	5,787人 (-7)	転 入	15人
人 女	6,245人 (+2)	転 出	15人
口 計	12,032人 (-5)	出 生	5人
世帯数	2,919戸 (-2)	死 亡	10人



▲オープンした町民会館と体育館

○年末年始(十二月二十九日～一月三日)
四、使用料
○浴室(入浴) 一人あたり百円

○浴室以外は町民福祉センター、町民体育館とは同じ取り扱いです。

※なお、森江野町民会館の電話番号は八五・五七九九です。

心配ごと相談日

場所：役場二階相談室 (東側入口からお入り下さい)
時間：9時～12時

こまったことや、相談ごとがありましたら、お気軽にご相談下さい。秘密は絶対に守ります。

(相談員)

11月25日(金)	高橋 隆雄・佐藤八重子
12月5日(月)	吉川 弥吉・吉田とし子
12月15日(木)	桜沢 正・山内 聡子



11月 霜月(しもつき)	12月 師走(しわす)
22日(火)小 雪	1日(火)歳末助け合い運動
23日(水)勤労感謝の日	4日(日)人権週間
24日(木)満 月	7日(火)大 雪
26日(土)全国火災予防運動	8日(水)針供養



国見町公民館
☎85-2676
(有) 4156

滝川クラブが二連勝

『町長杯ソフトボール大会』

公民館、町体協主催の第六回町長杯ソフトボール大会が、九月十三日から十月十三日までの一ヶ月間県北中グラウンドでナイターで行われました。

今年の大会は、雨の日が多く延期、変更の連続となり、また寒いなか三十チームが参加して熱戦が繰り広げられました。優勝した滝川クラブは昨年につづいての連勝でした。試合の結果は次のとおりです。



▲優勝した滝川クラブ

優勝 滝川クラブ
準優勝 徳江南部チーム
第三位 宮北チーム
光明寺チーム

優勝!! 源宗山チーム

『国見町一周 駅伝大会』

秋晴れの十一月六日、第十二回町内一周駅伝競走大会が、一般の部十二チーム、中学の部六チームに加え、今回新しく職場職域の部、高校の部を設けましたが、参加チームが三チームと少なくオープン参加となりました。



▲21チームが参加した駅伝大会

午前九時開会、大会長の蓮田教育長のあいさつ、来賓の矢戸三郎町議会議長の祝辞につづいて前年度優勝の小坂Aチーム佐藤孝男選手の力強い選手宣誓、午前十時号砲とともに一斉に役場前をスタートしました。収穫の終わった町内一周二・五kmのコースを各チームが健脚を競いました。

選手達は、沿道につめかけた町民のみなさんの声援を受けながら精いっぱい力をだしきり、全員タスキをつなぎました。選手の方々に御苦労様でした。成績は次のとおりです。

◎一般の部

優勝 源宗山チーム
準優勝 石母田チーム
第三位 光明寺チーム
一時間二九分十一秒

◎中学生の部

優勝 藤田JrBチーム
準優勝 藤田JrAチーム
第三位 大木戸チーム
一時間二八分〇四秒

◎職場職域の部

特別賞 藤田総合病院Aチーム
一時間二四分五五秒

★区間賞（一般の部のみ掲載）

- 一区 村上俊弘(徳江南)
- 二区 斎藤佳代子(源宗山)
- 三区 高村義孝(源宗山)
- 四区 佐藤 仁(石母田A)
- 五区 松浦裕貴(大木戸)
- 六区 渋谷和洋(光明寺)
- 七区 鈴木純治(大枝B)
- 八区 斎藤松男(源宗山)
- 九区 渡辺浩行(源宗山)
- 十区 志村清司(高城)

青少年健全育成 剣道大会開かれる

国見町、桑折町主催の青少年健全育成剣道大会が、十月十六日桑折町町民体育館で開催されました。

この大会は、青少年の健全育成と、相互の親睦と心身の鍛錬を図ることを目的に、毎年行われていきます。

国見町の選手は日頃の練習を存分に発揮し、九種目の練習目に優勝するなど、すばらしい成績をおさめました。

◎団体戦

- ▽小学生低学年(一〜三年)
- ▽国見 ②桑折A ③桑折C
- ▽小学生高学年(四〜六年)
- ①国見A ②桑折A ③国見B
- ▽中学生(男子)
- ①酸芳中 ②県北中 ③県北A

- ▽中学生(女子)
- ①県北中A ②酸芳中A ③県北中B
- ◎個人戦
- ▽小学生(一、二年)
- ①大和田明日美
- ②古川角栄 ③渋谷昇広
- ▽小学生(三、四年)
- ①平井裕伸 ②佐藤恵美
- ③斎藤健一
- ▽小学生(五、六年)
- ①瀬戸裕二 ②吉田和正
- ③曳地猛
- ▽中学生(男子)
- ①大塚和彦 ②須田浩元
- ③瀬戸和彦
- ▽中学生(女子)
- ①川名久美子
- ②平井由佳理 ③反田智佐

婦人のための

テーブルマナー開催

昨年好評でしたテーブルマナーを、今年も実施いたします。婦人のみなさんお気軽にご参加ください。

- 日時 十二月三日(出)
- 午後六時〜八時
- 場所 国見町公民館講堂
- メニュー フランス料理
- 会費 三、五〇〇円
- 申込み 四、十名
- 申込締切 十一月二十六日(出)
- 申込先 国見町公民館
- (電話でも可)
- ☎八五二二六七六

「奥の細道」を辿る

渡辺 アイ子

成人学級の十月の学習として、一泊二日の研修旅行が行われました。来年は松尾芭蕉の奥の細道三百年なので、記念すべき年を前に芭蕉の気持ちにあやかると、最上川の舟下り、かつての豪農本間邸見学や善宝寺及び湯殿山もうでなど内容豊かな研修でした。

十月二十六日午前七時公民館を出発、高速度路を北上、国指定重要文化財封人の家を見学しました。この時、芭蕉は雨に見舞われ、三泊程滞在されたとか芭蕉はここで、数々の句を詠まれたことでしょう。次は最上川の舟下り。昼食の弁当を抱え履



▲本間美術館前で記念撮影

形舟に乗り込む。紅葉は期待した程鮮やかではなかつたが、かき寄せられました。流れ行く舟からは、船頭のお国自慢の花笠音楽に、最上川舟下りならではの情緒を心ゆくまで満喫しました。五十分ほどで、最上川の舟下りに別れを告げました。

次は本間美術館に足を運び、名工榊右衛門の陶器を見て、十四代も長い間の品々が陳列された時代の変遷を物語る様でひとしお感銘を深くしました。次に本間家旧本邸を見学。かつては「本間様には及びも無いが、せめてなりたや殿様」と云われていた日本一の地主で、商業、金融、地主と三本立に栄え、著る事なく社会に農村振興に尽力されたそうです。又、米倉は庄内平野の大半の米が貯蔵されたかと思われ倉が十二棟も立ち並び、さすが本間様だと感嘆しました。それから一路湯の浜温泉にと車は走り竹屋ホテルに投宿。宴会には、蟹の姿も現われ飲む程に酔う程に賑やかな一夜は楽しく暮れました。

翌朝は、九時に出発し善宝寺に向い、五百羅漢を模した仏像やら、魚の供養塔、五重の塔など、特に正門の彫刻等には目を見張るものがありました。

史跡めぐりに

参加して

安田 節子

十月二十六日秋晴れのなか、中央婦人学級の研修で、仙台方面に史跡めぐりに出かけました。菊池利雄先生を講師にむかえ、仙台市内及び多賀城市まで足をのばし、一日を有意義に過ごすことができました。



▲説明に聞き入る学級生

主の墓所大年寺の野草園を見学、めずらしい高山植物など園の美しさと一緒に見えました。瑞鳳殿は、伊達政宗の御廟で、杉の巨木に囲まれて桃山風の鉄筋の建物に威風を誇っていました。昔は、日光東照宮につく華麗さをほこっておりましたが空襲で焼けてしまい現在の建物は昭和五十一年に建てられたものだということ。政宗の愛用した品物の数々、また、江戸で政宗亡き後、仙台に移す時に使ったと言われる座箱など興味深いものがありました。

その他、大崎八幡神社、輪王寺、多賀城跡を見学しました。陸奥国の国府が置かれていた所ということ、建物が建っていないくとも、土塁や石畳に、昔が忍ばれます。幅広い石段を進んで来る行列が見えたような気がして振り返ってしまいました。一日、一杯見学して身体は疲れましたが、もう一度いつの日か訪ねてみたいと思います。

若者に

負けるもんか!

高齢者・婦人運動会

恒例となりました高齢者・婦人運動会は、高齢者、婦人が参加して、スポーツ・レクリエー

ションを行うことによって、健康増進と相互の親睦を図る目的で、十月九日公民館前庭で約三百人が参加して開催されました。大会委員長の蓬田教育長のおいさつ、来賓の佐藤忠美文教厚生委員長長の祝辞があり、全員がラジオ体操で体をほぐしたあと競技を行いました。

競技は、最近盛んになってきているゲートボールをまねた、「ゲートを通そう」「玉入れ」などの地区対抗戦、高令者による「マンボ踊り」などユニークな種目が多く、参加した皆さんは各種目に熱戦をくり広げました。



▲快い汗を流した運動会

わ
だ
い



青空のもと

全力疾走

第八回国見町小学校スポーツ(陸上)交歓会が、快晴に恵まれた十月十九日、藤田小学校グラウンドで開かれ、児童たちは自己ベストを目指して汗を流しました。

「町内小学校児童の親睦と走力の向上をはかるとともに、ス



▲それっがんばれ! (女子800メートル走)

スポーツに対するフェアプレーの精神を養おう」と、町教育委員会、町教育研究会が主催したもので、町内四小学校から六年生百八十人が参加しました。準備運動をした後、百メートル走、四百メートルリレーなど四種目に日頃の練習の成果を発揮しました。

児童たちは友達や先生、つめかけた父兄の声援を受けながら、各種目に力いっぱい熱戦を展開しました。

ゆかりの地

国見町に記念碑

国見町にゆかりの深い、奈良時代の武将大野朝臣東人(717-742)の記念碑が、国見町鹿島神社境内裏に建立されました。



▲建立された大野朝臣東人の記念碑

た。

大野朝臣東人は、奈良時代前期の七十二年(神亀)藤原宇合に従って蝦夷征討に参加し、以後鎮守府将軍、陸奥按察使として長期間にわたる蝦夷対策に力を尽くしました。また、宮城県の大賀城は東人の建議によって築かれたことでも知られています。

楽しい体験

稲刈り実習

雲り空で肌寒かった十月十二日、小坂小学校で児童全員が参加して稲刈りの体験学習をしました。

勤労体験学習をとおして、児童に勤労と収穫の喜びを味わってもらおうと実施したもので、かまを持った児童たちは慣れない



▲慣れない手つきで稲刈りを体験

い手つきで稲刈りに挑戦していました。

五月十四日に、児童総出で田植えを行い、この日の稲刈りを楽しみに待っていたのもので、PTA会長の後藤子志雄さんをじめ、お父さん、お母さん、それに先生の協力を得て、約一時間ばかりで作業を終えました。児童たちは、「私たちが植えた苗を、自分たちが稲刈りするの、とっても楽しい」と大喜びしていました。

サツマイモ掘りに

およろこび

藤田保育所の子どもたちは、十月十八日、桑折町緑風園の「ふれあい農園」で、楽しいサツマイモ掘りを行いました。



▲サツマイモを手に大喜びする子どもたち

五月三十一日に、緑風園のおじいちゃん、おばあちゃんたちと苗植えをしたもので、大きく育つのを楽しみにしていました。

さっそく畑の中に入った子どもたちは、土の中からつぎつぎと掘り起こされたイモを見つけては歓声を上げて大喜び。手をまっ黒にしなが大きなイモを掘り起こし、持参したビニール袋にかかえきれないほどつめていました。

編集日記

十月二十八日から四日間、郡山市の南東北卸センターで開催された「ふくしま・ふるさと産業おこしフェスティバル'88」に出かけてみました。全国的に村おこしが叫ばれる中、県内各市町村自慢のふるさと産品約八百五十種が展示、即売され、国見町はりんご(ふじ・王林)と柿(ひらたねなし柿)を出品。来店者には大変好評を得ていました。わが町自慢の味覚、伝統工芸品を売り込もうと、各出店者のかけ声にも一段と熱が入っていました。

(K)